

秋空に舞う

おくんち

小城町晴気の静かな山あいにある天山社に賑やかな鉦の音と共に、色とりどりの衣装を身にまとった人々がやってきました。毎年10月に行われる「くんち祭^{さい}」。400年間受け継がれてきた神様への感謝の祭です。

浮立とは

くんち祭の時に奉納される浮立は、夏から秋にかけて、佐賀県を中心に行われている民俗芸能です。

浮立を奉納するのは、二つの意味があります。

◎神様への感謝

- ・ 五穀豊穡
- ・ 無病息災
- ・ 無事安寧

◎神様への祈願

- ・ 豊年祈願
- ・ 雨乞い
- ・ 水害除け祈願

佐賀県内の浮立では、鹿島市の面浮立、佐賀市富士町の天衝舞が有名です。



くんち祭とは

天山社の「くんち祭」

毎年、晴気(はるけ)の天山社では10月15日に近い日曜日にくんち祭が行われ、浮立が奉納されています。市内でも浮立を奉納される場所はありますが、天山社では400年の歴史があり、その始まりは興味深いものがあります。

浮立を奉納する担当の地区を注連元と呼びます。天山社には10の注連元があり、輪番制で面浮立や天衝舞など特徴ある浮立を奉納しています。大人から子どもまで100人以上が関わるくんち祭。近年は、少子高齢化により継承することが難しくなっています。

鍋島家の存続をかけた戦い

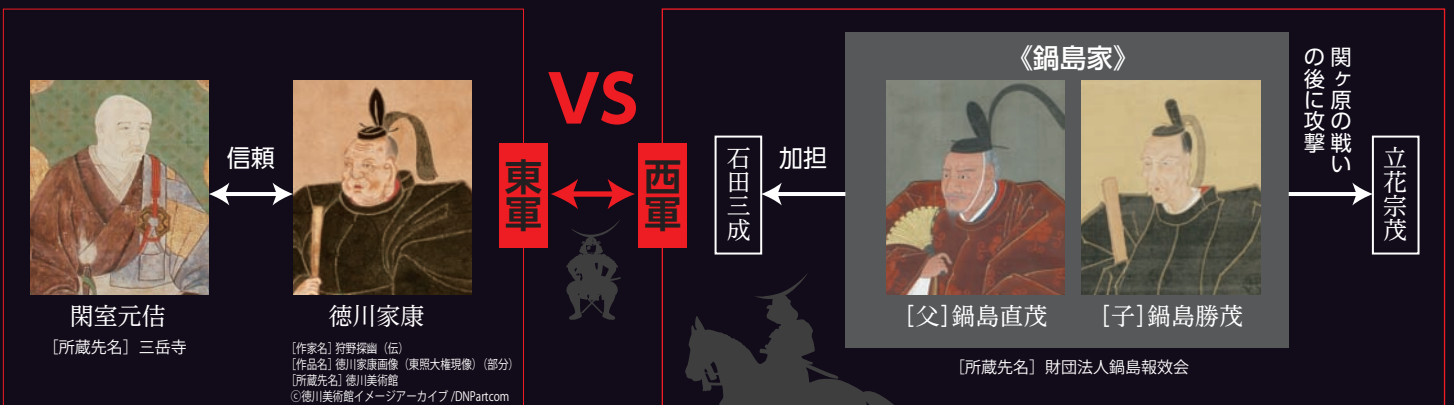
天山社でのくんち祭の始まりは、400年前の関ヶ原の戦い(1600年)にまで遡ります。

佐賀藩の鍋島家は関ヶ原の戦いの際、石田三成率いる西軍方につき、徳川家康率いる東軍方と敵対する立場をとり、敗北したため、一時、断絶の危機に陥りました。

しかし、この窮地を救ったのが小城町晴気出身の閑室元信です。元信は徳川家康に仕えた人物で、関ヶ原の戦いでは、家康の側で戦の吉凶を占っていました。家康の信任が厚い元信らの尽力により鍋島家は、お家再建のチャンスをもたらします。それは同じ西軍、石田方として戦った筑後柳川藩の立花宗茂の討伐です。

鍋島家は、強大な勢力を持つ立花家の討伐戦勝を祈願するために、佐賀藩の祈願所である天山社に参拝します。その後、鍋島家は立花宗茂の討伐に勝利を収め、家康の機嫌をとりなすことができました。

相関図：関ヶ原の戦い



《天山社の注連元》

浮立を奉納する担当地区
のことで、天山社には
10の注連元があります。



上] うちらにしほんざん おぎなかわらさむけ
内浦西(本山・小城中村・寒気)

下] 川内



東小松・川原・郷の木



えんこうじ しょう
円光寺・庄



てらうら
寺浦



にしのだに さぎのはる ひらばる
西谷・鷺ノ原・平原

奉納に込める思い

受け継がれている参拝

立花宗茂を討伐後、鍋島勝茂は
すぐに戦勝祈願成就の奉告のため、
行列を整え天山社に参拝していま
す。

それから毎年9月15日には、佐
賀城から大名行列をなして参拝す
るようになりました。しかし、晴
気まで参拝することは容易でな
かったため、天山社の氏子である
農民に代参を命じます。その後、
毎年藩主に代わり農民たちが盛大
に大名行列を行ってきました。

そのため、その年の注連元の中



天山社
えんじょうじ ゆうじ
円城寺雄二
宮司

『注連元行事は、現存している
晴田の年中行事の代表的なもので、
永久に保存しなければならぬもの
です。』

これは、先代の宮司が残した言
葉です。最初は、注連元行事の意
味すらわからなかったのですが、
宮司として毎年、注連元行事に関
わっていくうちにこの言葉を噛み
しめるようになりました。伝統芸



いさこだ くつわがり はけだ
砂田・轡ヶ里・畑田



みね
峰



くろはら でぶん
黒原・出分



しゆく いっほんまつ にしはる け
宿・一本松・西晴気



まつば ちゆうぜん じ
松葉・中善寺

注連元行事

天山社のくんち祭に浮立を奉納する行事です。その年担当の注連元は、約1年を通して行事を行います。

1月 初寅

年が明けて最初の寅の日にその年の殿様を決めます。殿様を中心とした注連元が、くんち祭の浮立の奉納を行うことを神様に誓います。

8月 神立て

8月7日に行われ、この日の神事で神の依代となった神籬は締め上げの日まで殿様の家に祀られます。



神籬



神立てがなされた殿様宅

9月 八朔

八月朔日の略で、旧暦の8月1日のこと。天山社では、新暦の9月1日に行われます。神事の後に浮立の打ち込みが行われ、この日から浮立の稽古が始まります。

10月 くんち祭奉納

以前は9月15日に行われていましたが、現在では10月15日に近い日曜日に行われています。

10月 締め上げ

くんち祭の翌日に行われます。神事で使った神・御幣などを縄で竹に巻き込み、シメを作り、シメの最上部に神籬を差し、殿様の庭に立てます。これでほぼ一年がかりの注連元行事が終了となります。



から選ばれた藩主の代理を「殿さまトントンさん」と呼んでいます。こうして始まった代参の行事も時とともに一つの祭礼と化し、注連元行事と呼ばれ、その大名行列も明治25年頃からは浮立の奉納に替わっていきました。

能である浮立が、各地で消滅していく中で、天山社の注連元の浮立が、毎年欠かすことなく継承されてきたことは貴重なことです。ただ、注連元の一つである川内の浮立が、過疎化のために危機に瀕しています。保存会が作られ、川内浮立の演者を募集しています。川内浮立は、子どもに向けているといわれています。文化財、伝統芸能に関心のある小中学生の皆さん、川内浮立保存運動に、ぜひ参加してください。

受継ぐ



峰地区 大殿
樋口 博さん

注連元を担う

私たち世代では「やって当たり前」という感覚です。子どもの頃から参加していましたが、「きたか！」という感じですね。

この祭を執り行うには、大殿おおとの、小殿ことのの執行陣と、三夜待さんやまちの仲間の存在は欠かせません。横の「つながり・協力」は大きいですね。



「面浮立」を舞う

峰地区は、天山社の注連元の中で唯一「面浮立」を奉納しています。ここでの浮立には、小唄こうたが5番まであり、それぞれに舞の振りも異なります。リズムを体に刻むため、小唄にあわせて舞を練習しています。

鬼の面をつけて踊る舞手は、40、50代までの男性で構成し、年齢を重ねると小唄役になります。笛役ふえりやくの人は、年齢と共に指導役にもなります。女性は、鉦かねを叩きます。

練習の時は、演舞の方法や音色などを長老にチェックしてもらい、若い世代に教えています。

苦労すること

浮立の準備の中では、人集めが一番大変ですね。地区32世帯の内、予定人員は65人ですが、祭の中核となる20代、30代が仕事の関係などで参加するのが難しくなっています。そのため、中学生から声をかけ練習に参加してもらっています。中には家族総出で参加されているところもありますよ。練習は、八朔はっさくである9月1日から本番を目指し毎晩22時くらいまで行っています。皆さん、学校や仕事、家事を終えてかけつけていただき、本当にありがたいですね。

浮立に向けて

最初、「殿様をしてくれんね…」と言われた時、「自分なんかには…」と思ったのですが、恩返しのためで受けさせていただきました。くんち祭くんちまつりは、地域が一体となって行う、大行事です。この祭を通して幅広い世代の人たちが触れ合えるきっかけにもなればと思います。

アドロ上

三根 汐温君

神様への感謝の言葉を述べる、それが「アドロ上」です。大事なその役割は、穢れを知らない神様に近い存在として、子どもが担います。今回務めるのは峰地区唯一の小学6年生の三根君です。三根君は「選ばれたことを聞いて嬉しかったです。当日は、みんなに聞こえるように、大きな声で口上を述べたいです」と話してくれました。また、10年後には面の舞手として出演したいと語ってくれました。



現在、練習に励んでいる三根君。力強いアドロ上を聞かせてくれました。



今回、おじいちゃんおじいちゃんは小唄、お父さんは笛、お母さんは鉦かねの演者として、家族三代で出演されます。

～岩蔵天山神社浮立～



岩蔵地区
泉靖雄宮司

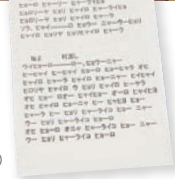
「島原・天草一揆」制圧の後に、1638年から国家安全を願い、毎年旧暦の9月15日に浮立が奉納されたのが始まりです。6つの注連元である大日地区が面浮立、それ以外の5地区が天衝舞(鉦浮立)を輪番制で奉納しています。最近は人口の減少でだんだんと舞手が少なくなり、浮立の継承が難しい注連元もありますが、400年受け継いだ伝統を守っていききたいですね。

～牛尾鉦浮立～



三里地区
花園康行宮司

通称、「^{こんげん}権現さん」と地域の方に親しまれている牛尾神社。古くから天災地災の時に神霊の加護を祈念していました。それを1738年から豊年を感謝する秋祭(おくんち)として毎年10月15日に、9つの注連元が輪番制で浮立を奉納されていました。しかし、少子化の中、継承が難しかったのですが、今年は18年ぶりに鉦浮立・浦安の舞を奉納することができるようになりました。これからも伝統の祭りである鉦浮立を継承・保存していきたいと思っています。



- ① 10年前の映像を見ながら振りの確認。
- ② 先輩たちの振りを見ながら体を動かします。
- ③ 和やかな雰囲気です鉦を練習する女性たち。
- ④ 音が出せるまでに時間がかかります。
- ⑤ 鉦を叩く撞木は叩くうちに繊維が開いていきます。
- ⑥ 笛と鉦の楽譜は文字のみのため、練習を重ね音を合わせていきます。
- ⑦ 扇子にぎっしりと書き込まれた小唄の歌詞。



今年の浮立

Schedule of this year

◎天山社 10月14日(日)

・天山社 11時～12時20分

◎牛尾鉦浮立 10月14日(日)

・牛尾神社 11時～

